

校長室だより No.5 6月13日(木)

「質問がないというのは興味がないということ」(安来地区仕事発見セミナー)

昨日、県の商工労働部雇用政策課主催のセミナーが行われました。18の企業が来られ、高校からは10校93名の生徒、保護者、教員の参加がありました。そのうち本校からは53名の参加があり、進路意識の高さがうかがえました。

「就活で質問がないと言うことはその企業に興味がないということです」この言葉は後半の質問タイムで質問が途切れた時にある企業の方が言われた言葉です。それまでは活発に質問が出ていたので、その時はたまたま途切れたのですが、本当にその通りだなと思いました。

自分がその企業に就職を真剣に考えた時、調べただけではわからないこと、聞いてみたいことが必ず出てくるはずです。何も出てこないのであればそれは「自分事として真剣に考えていない」と言うこと。採用する企業は、面接でそういう点もしっかり見て判断していると言うことです。

3年生はこれからいよいよ就職活動が始まります。志望する企業を選ぶ際、受験する際、このことをしっかりと心にとめておいて欲しいと思います。